

平成 18 年 11 月 28 日 記者会見 会頭発言要旨

時事の話題

安倍内閣 2 ヶ月の実績について

就任早々に懸案事項であった中国、韓国との首脳会談を実現し、先日の A P E C では、プッシュ大統領やプーチン大統領との会談をするなど、全方位外交をアピールされた。内政でも、経済成長を重視した政策に取り組むなど、大変よくやっておられると評価している。

教育基本法改正について

教育基本法は憲法と違って、国の根幹となるものだ。改正案に「我が国と郷土を愛する」と明記されたことに対して反対意見もあるが、戦後に欠落していた日本人としての誇りを取り戻すためには、必要と考える。

景況について、京都主要企業の中間決算状況について

- ・ 景気拡大期間が 5 8 カ月となり、「いざなぎ景気」を超えた。緩やかな景気回復の中で、大企業から中小企業や家計へと、徐々に景気回復が実感できるようになっていくと考える。
- ・ 京都の主要企業の中間決算では、ほとんどの企業が好決算で、引き続き好調を維持している。先行きについては、景況に一服感が出始めており、注意深く経済動向を見守る必要がある。

京都商工会議所の動き

サミット誘致状況について

11 月 24 日に、サミットの関西誘致要望書を、政府に提出した。要望文の中で、関西としては首脳会合がどこに決まろうとも、一致協力して進めることを明記している。京都としては、新たに作成した開催提案書を今後関係各方面にご覧いただき、首脳会合開催を働きかけて行きたい。

京都検定申込状況について

12 月 10 日に、「京都・観光文化検定試験」の第 3 回目を実施する。受験申込総数は、11,216 名。昨年度と比較すると 19.1%減少したが、1 万人を超えたことは、一定の評価を頂いたものと喜んでいる。

ケータイ国際フォーラムについて

第6回ケータイ国際フォーラムを来年3月26日から28日の3日間、北京市で開催する。展示会場には、京都パビリオンを設置し、オリンピック開催に向け「観光とケータイ」をテーマにした情報サービス事業の企画展示を行なう予定。現在は、展示会の出展者を募集している。

京都文化交流コンベンションビューローの財団法人化について

本年4月、平安建都1200年記念協会と京都コンベンションビューローが統合した京都文化交流コンベンションビューローは、来年1月の設立を目指し、11月に財団法人化の設立許可申請書を関係機関に提出する予定である。

デザイン&ビジネスフォーラム in 京都開催について

「デザイン&ビジネスフォーラム」を12月15日、京都リサーチパークで開催する。京都ブランド推進事業の一環として、2年前より日本産業デザイン振興会とともに実施している。今回は、新日本様式協議会の協力により、各界から講師をお招きし、ものづくりやブランドづくりの方向性を探る。

以上